



2017年12月21日

マリ共和国難民キャンプへ衣類などをプレゼント 今年で25年目！年末恒例「クリスマス・チャリティ」を実施 今年もOB・OGも参加、輸送費チャリティは過去最高の161万円を寄付

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-6、社長：助川 龍二）は、11月27日（月）から12月20日（水）の期間に、西アフリカ・マリ共和国の難民支援を目的とした「クリスマス・チャリティ」を実施しました。

この活動は毎年クリスマスの時期に、社員の各家庭で不用となった衣類や薬、文房具、おもちゃなどを持ち寄り、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル（本部：東京都品川区南品川5-16-14 代表：村上章子 氏）」を通じて、西アフリカ・マリ共和国の難民キャンプに寄贈しようという活動です。1993年に活動を開始して以来絶えることなく続け、今年で25回目となりました。現在では年末の恒例行事としてすっかり社内に定着しています。今年も多くの子員の賛同と協力を得て、全国から多数の物品が寄せられました。また、今回は25周年の節目ということもあり、共栄火災のOB・OG約1,000名が所属する共栄旧友会も活動に加わりました。

チャリティ期間中は全国の社屋各フロアーには物品の回収箱が設置され、新橋本社ではボランティア推進チーム（次頁「■共栄火災の国際貢献活動について」をご覧ください）が、始業前に出社する社員にチャリティへの参加を呼びかけました。そして最終日となる12月20日（水）には、役員をはじめ新橋本社勤務の社員、共栄旧友会メンバーら150名以上が集まり、輸送のための仕分け・梱包作業を実施しました。その結果、集まった物品の総数は8,971点（段ボール375箱分）となりました。

あわせて日本から西アフリカまでの輸送費募金を実施し、社員や関連会社社員から776,892円が集まりました。この募金に会社からのマッチング・ギフト388,446円と共栄旧友会からの募金450,812円を加え、総額は1,616,150円となりました。なお、今回の結果を含めた過去25年間の累計は、物品総数が20万点を超え、輸送費募金も1,850万円を超えました。

さらに、全国農業協同組合連合会（全農）グループで当社代理店でもある株式会社全農ビジネスサポート（本社：東京都千代田区内神田1-1-12、社長：山岸 嘉春 氏）も当社活動に協力し、同様にチャリティ活動を実施しました。その結果、2,622点（段ボール73箱分）の物品と、193,580円の輸送費が集まりました。

最終的な結果として、当社チャリティと合わせた物品総数11,593点（段ボール448箱分）、輸送費募金1,809,730円を、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」に提供します。

当社はこの活動を、毎年2月に実施する同じく西アフリカ・マリ共和国の難民支援を目的とする「“義理チョコ、あげたつもり・もらったつもり”バレンタイン・チャリティ募金」とあわせ、国際貢献活動の2本柱として今後も継続して参ります。

■ 共栄火災の国際貢献活動について

1992年に創業50周年記念事業の一環として女性社員の制服の改定を実施しました。その際、廃棄する予定としていた約7,000着（段ボール300個分）を、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」を通じて、西アフリカ・マリ共和国の難民キャンプに贈りました。数カ月後、現地の様子を伝える写真や記録が送られてきました。自分たちが慣れ親しんだ制服を着た子供たちの写真を見て多くの女性社員たちが感激し、「こうしたことで役に立つのなら、何かもっとほかにもできることはないだろうか」という話し合いがもたれ、女性社員有志により自発的に「ボランティア推進チーム」が結成されました。そしてボランティア推進チームの発案から「“義理チョコ、あげたつもり、もらったつもり”バレンタイン・チャリティ募金」が生まれ、「クリスマス・チャリティ」へとつながっていきました。ボランティア推進チームは退職等の入れ替わりを経ながらもその精神が引き継がれ、現在も30名以上がメンバーとして活動しています。

■ 「“義理チョコ、あげたつもり、もらったつもり”バレンタイン・チャリティ募金」

職場でなかば儀礼的となっている義理チョコの配布とホワイトデーでのお返しを、もっと有意義な目的に使えないかと女性社員有志が発起し、1993年から全社員を対象に「“義理チョコ、あげたつもり・もらったつもり”バレンタイン・チャリティ募金」がスタートしました。これは、毎年2月に、義理チョコの配布やホワイトデーのお返しのかわりに一口500円をチャリティとして募金する活動です。集まった募金はクリスマス・チャリティと同様に、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」を通じて、西アフリカ・マリ共和国の難民キャンプにおける植林費用や医療品購入費用、水田拡張事業などに活用されています。

■ 「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」について

マザーランド・アカデミー・インターナショナルは、命の等しさ尊さを子供たちに伝える過程が「教育」そのものだと考えた母親たちが、家でも学校でも地球上のどこにいても、当たり前これを行動に移せる子供を育てる事を目指して「命の等しさ尊さを行動で子ども達に伝える母の会」として1982年に活動を開始しました。世界で最も支援が必要であると国連が指定している国々や地域へ確かな支援ルートを持っており、年間約10便（船便）で物資を送っています。

マザーランド・アカデミー・インターナショナル
（命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会）
代表：村上章子 氏

【本部事務局】〒140-0004 東京都品川区南品川 5-16-14
TEL:03-3450-5829(対応時間平日 21:00~22:00)/FAX:03-5461-8929(24時間受付)

■ 2017年度のクリスマス・チャリティ結果（詳細）

< 物品 >

品名	数量	段ボール数
衣料品	8,127点	310箱
文房具・生活雑貨・おもちゃ・医薬品	844点	65箱
合計	8,971点	375箱

< 輸送費募金 >

社員からの募金額	マッチング・ギフト	共栄旧友会からの募金額	募金総額
776,892円	388,446円	450,812円	1,616,150円

※上記の結果に全農ビジネスサポート分は含んでおりません。

■ クリスマス・チャリティの実績

※1994年より輸送費募金開始

回数	実施年月	段ボール箱	物品点数	輸送費募金	備考
1	1993年12月	200	9,680	-	
2	1994年12月	167	6,877	475,205	輸送費募金開始
3	1995年12月	188	7,433	403,520	
4	1996年12月	242	5,978	639,218	
5	1997年12月	243	6,834	632,660	
6	1998年12月	215	7,360	496,393	
7	1999年12月	257	8,611	543,528	
8	2000年12月	225	8,045	571,892	
9	2001年12月	156	5,703	475,115	
10	2002年12月	205	5,898	506,082	
11	2003年12月	186	6,391	445,504	
12	2004年12月	201	6,555	400,538	
13	2005年12月	172	4,707	444,023	
14	2006年12月	227	5,828	472,973	
15	2007年12月	298	8,028	1,058,322	うちマッチング・ギフト¥529,166-
16	2008年12月	399	11,992	1,305,512	うちマッチング・ギフト¥652,756-
17	2009年12月	374	11,456	858,210	うちマッチング・ギフト¥286,070-
18	2010年12月	347	9,717	1,000,000	うちマッチング・ギフト¥323,875-
19	2011年12月	490	13,194	1,000,000	うちマッチング・ギフト¥231,092-
20	2012年12月	500	12,935	1,000,000	うちマッチング・ギフト¥261,003-
21	2013年12月	312	9,325	1,010,975	うちマッチング・ギフト¥288,850-
22	2014年12月	343	10,399	1,088,336	うちマッチング・ギフト¥362,779-
23	2015年12月	310	8,680	1,020,188	うちマッチング・ギフト¥340,063-
24	2016年12月	258	7,973	1,043,268	うちマッチング・ギフト¥347,056-
25	2017年12月	375	8,971	1,616,150	うちマッチング・ギフト¥388,446-、共栄旧友会募金額¥450,812-
	現在までの累計	6,890	208,570	18,507,612	



チャリティへの参加を呼びかけるボランティア推進チーム



全国から届いた物品の仕分け・梱包作業を行う様子



梱包作業を行う助川社長



作業を終えた社員と積み上がった段ボール